

予 算 要 求 資 料

令和 8 年度当初予算

支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：企画調査費

事業名 官民連携SDGs推進ポータルサイト構築及び運用
保守業務費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

総合企画部 SDGs推進課 SDGs推進係

電話番号：058-272-1111(内2532)

E-mail：c11123@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 要求額 1,712 千円 (前年度予算額： 1,712 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 入 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 源 財 源
前年度	1,712	856	0	0	0	0	0	0	856
要求額	1,712	0	0	0	0	0	0	0	1,712
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

本県では、令和5年度から開始した「第2期SDGs未来都市計画」に基づき、持続可能な「清流の国ぎふ」づくりを「オール岐阜」で進めていくこととしている。

こうした取組みの一環として、令和5年7月にSDGsの達成に向けた取組みを行っている事業者を登録して「見える化」する「ぎふSDGs推進パートナー登録制度」を創設し、令和6年度に登録事業者の取組みを公表・PRするための官民連携のプラットフォームとなるポータルサイトを構築したところ。本事業はこのポータルサイト運用にかかり必要となる経費である。

(2) 事業内容

・令和6年度に構築した、「清流の国ぎふ」SDGs推進ポータルサイトについて、運用・保守を継続する。

(3) 県負担・補助率の考え方

- ・無

(4) 類似事業の有無

- ・無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託料	1,712	ポータルサイト運用保守業務の委託料
合計	1,712	

決定額の考え方

4 参 考 事 項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・第2期SDGs未来都市計画
「県民に向けた情報発信の強化、多様なステークホルダーの連携促進を図るため、地域の取組みの見える化や事業者間の連携・交流等の機能を備えた新たなポータルサイトを構築・運用する」と記載。

(2) 国・他県の状況

- ・都道府県のSDGsを広報するウェブサイトの開設状況
団体公式サイトとは独立した専用サイトの開設 10団体

(3) 後年度の財政負担

- ・運用保守費用については、令和10年度までの5年間の債務負担。

(4) 事業主体及びその妥当性

- ・県には、2030年に向かってSDGsをより一層推進していくため、県民一人ひとりの行動を促すとともに、事業者の連携促進や活動の活性化を図ることが求められており、これに資する当事業を県が主体的に実施するのは妥当。

事業評価調書（県単独補助金除く）

☐ 新規要求事業

☒ 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

第2期SDGs未来都市計画の最終年度であるR8年度を目途に、県民及び事業者によるSDGsの達成に向けた行動割合を引き上げる。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R2)	R5年度 実績	R6年度 実績	R7年度 目標	終期目標 (R8)	達成率
①県民の行動割合	24.3%	50.1%	50.4%	63.0%	66.4%	75.9%
②パートナーの登録数	—	300会員	686会員	1,000会員	—	68.6%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和4年度	
令和5年度	令和5年度は2回に分けてパートナー登録事業者の募集を行い、計300事業者を登録した。 指標② 目標：1,000事業者 実績：300事業者 達成率：30%
令和6年度	令和6年度は2回に分けてパートナー登録事業者の募集を行い、386事業者（累計686事業者）を登録した。 指標② 目標：1,000事業者 実績：686事業者 達成率：68.6%

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない	
(評価) 3	ぎふSDG s 推進パートナー登録事業者数は順調に増加している。今後、登録事業者等によるポータルサイトでのSDG s の取組みの情報発信を通じて、県民及び事業者のSDG s の達成に向けた行動割合を引き上げ等を図っていく。
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない	
(評価) 2	事業者の情報発信、マッチング支援の機能をもったポータルサイトを運用し、閲覧数や活用数は順調。
・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価) 1	ポータルサイトの運用保守に係る経費であり、複数年契約をすることにより効率化を図っている。

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項 県民のSDG s への認知度は向上したが、SDG s を知った後、実際に行動に移せていない。また、現在、SDG s 推進ネットワーク会員は2,200を超えたが、引き続きR5年度に創設したぎふSDG s 推進パートナー登録制度(パートナー会員)へのステップアップを促していく必要がある。
--

(次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか ポータルサイトによる「県民への情報発信の強化」、「事業者間のマッチング支援」、「ぎふSDG s 推進パートナー登録制度の円滑な運用」等の取組みを通じて、SDG s の達成に向けた行動割合を引き上げるとともに、会員間の連携促進、投資家・金融機関による投資・融資の促進を通じた自律的好循環の形成を図っていく。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課 組み合わせる理由や期待する効果 など	
--	--